

提案者	事業分野
茨城県、茨城県つくば市	健康寿命の延伸、移動革命の実現、サプライチェーンの次世代化、快適なインフラ・まちづくり、SIP等の活用

■ 背景・課題

目指す
将来像

- 高齢者や障害者など誰もが自分らしく生活できるための健康寿命の延伸や移動革命の実現、防災・減災等による快適なまちづくりなど、Society 5.0とSDGsが融合し、社会課題がいち早く解決される「活力があり、県民が日本一幸せな県」「世界のあしたが見えるまち」を実現

解決すべき
課題

- 千人あたりの自動車保有台数が全国3位の一方で交通事故発生件数も高く(全国12位(2017年))、高齢者による事故が増加
- 人口減少が進む中、介護現場や農業現場等では、人材不足が深刻

■ 2020年度までの事業内容

○茨城県事業：農業用ロボット、自動運転 等

活用技術

事業概要

ロボット
自動運転

- 農業ロボット研究会(ユーザーである農業者・農業用ロボットのメーカー・技術コーディネーター等で構成)において、地域の農作業システムを分析し、実装を目指し、研究会員が共同で開発・改良を実施
- 民間事業者が研究開発を進めている自動運転技術を活用。さらに多くの自動車にこの技術が搭載されていくよう、多様な道路環境下において実証等を実施



自動運転

○つくば市事業：自動運転移動支援ロボット、革新的サイバニクス技術 等

活用技術

事業概要

ロボット

- 座り乗り型搭乗型移動支援ロボットを、身体障害者用電動車いすに位置付けた上で、運転免許を保持しない高齢者や歩行に支障のある人の生活の活動の範囲や機会を拡大
- 重介護ゼロ社会を実現する革新的サイバニクスシステム(ImPACT成果)を2020年度までにつくば市において実装し、他地域への展開を実施



サイバニクス技術